

ALLwatch Tips

2017年9月号
オムロンソーシャルソリューションズ株式会社

バックナンバーは M2M センサネットへのログイン後に「取扱説明書」ボタンで表示する画面から参照ください。
「ALLwatch」は弊社が提供するモニタサービスの総称です。

<LM-100-3G> 温度計測の設定方法

本号では、LM-100-3G でサーミスタによる温度監視を行う上で必要となる、設定に関して記載いたします。

LM-100-3G の筐体向かって左から4チャンネル (AI00~AI03) は、漏電監視 (IO) か温度監視 (サーミスタ) を選択して使用できますが、接続が ZCT かサーミスタかを自動判別するわけではありません。

初期設定は温度監視 (サーミスタ) になっていますが、ZCT とサーミスタを混在で使用したり、ZCT からサーミスタへ接続を変更したりした場合は、正しく設定されていることをご確認ください。

【漏電監視と温度監視を選択可能なチャンネル】



M2M センターへログインし、下記手順で設定を行ってください。

■CH 種別設定

①メニューの「端末設定」から「CH 種別設定」を選択します。

一覧へ戻る 通報 モニタ **端末設定**

機能

CH種別設定

CH単位に、I0/I1/I2/I3のサーミスタの種別を設定します。

端末タイトル・データ名称設定
端末タイトル、CH名称などを設定します。

CH種別設定

説明

CH名称	I0	温度	I0/I1/I2/I3計測	単相/三相選択
I0 または TH1(AI00)	☐	☐		
I1 または TH2(AI01)	☐	☒		

②漏電監視 (IO) か温度監視 (サーミスタ) をクリック

③送信ボタンをクリック
(LM-100-3G 本体に設定内容を送信)

送信

この案内に関するお問い合わせは、下記のフリーダイヤルにて承っております。

0120-053-606 (土・日・祝日を除く 9:30~17:30 (12:15~13:00 を除く))